

精神科神経科

Department of Neuropsychiatry



精神科神経科長
村井 俊哉



多様な精神の病気に 専門的治療

当科では、多様な疾患への対応を行っている。主には、重症精神病の治療、発達・子どものこころの診療、摂食障害の治療、てんかんの治療など。電気けいれん療法やうつ病に対する認知行動療法も行っている。リエゾン・コンサルテーション精神医学、精神科リハビリテーション、精神鑑定および医療観察法にもとづく通院医療も実施している。

代表的診療対象疾患

統合失調症、急性一過性精神病性障害(非定型精神病)、気分障害(うつ病・躁うつ病)、器質性精神障害、中毒性精神障害、不安障害、強迫性障害、解離性障害、摂食障害、人格障害、てんかん、広汎性発達障害(自閉性障害、アスペルガー障害)、注意欠如・多動性障害、認知症

診療体制と治療実績

外来診療体制と実績

患者数は延べ34,576人、男女比は1:1.33であった。精神科のすべての疾患を対象とした一般外来に加え、発達外来、摂食障害の専門外来を設けている。

入院診療体制と実績

病棟は急性期治療に対応可能なマーク式閉鎖病棟で、単一病床60床、計8室の保護室を備えている。年間延べ19,077人の入院患者を診療し、平均在院日数は76.3日であった。



地域医療の取り組み

被災地支援などを実施

①東日本大震災における被災地支援として、京都府心のケアチーム(2011年4月～7月)、京大病院心のケアチーム(2011年11月～2012年3月)、京都子どもの心のケアチーム(2012年5月～2013年3月)を福島県に派遣し、継続した支援活動を行っている。

- ②京都市こころの健康増進センター嘱託精神科医
- ③長岡京市教育支援センター嘱託医
- ④京都拘置所嘱託医